



平成28年 8月 4日

各 位

会 社 名 東洋ドライループ 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 飯 野 光 彦
 (J A S D A Q ・ コード 4 9 7 6)
 問合せ先 常務取締役
 管理本部長 城 戸 幸 一
 電話番号 0 3 - 3 4 1 2 - 5 7 1 1

営業外費用(為替差損)の計上 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成28年 6月期(平成27年 7月 1日～平成28年 6月30日)において営業外費用(為替差損)を計上するとともに、最近の業績の動向等を踏まえ平成28年 2月 1日に公表いたしました平成28年 6月期通期業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成28年 6月期 通期(平成27年 7月 1日～平成28年 6月30日)業績予想数値の修正

(1) 連 結

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
平成28年 2月 1日発表 通期業績予想 (A)	4,630	180	218	154	円 銭 116.31
今回修正予想 (B)	4,565	190	85	54	41.36
増 減 額 (B A)	65	10	133	100	
増 減 率 (%)	1.4	5.6	61.0	64.9	
(ご参考)前期実績 (平成27年 6月期)	4,840	267	549	333	251.67

(2) 個 別

(単位：百万円)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 純利益
平成28年 2月 1日発表 通期業績予想 (A)	3,990	218	220	156	円 銭 117.82
今回修正予想 (B)	3,970	240	116	85	64.30
増 減 額 (B A)	20	22	104	71	
増 減 率 (%)	0.5	10.1	47.3	45.5	
(ご参考)前期実績 (平成27年 6月期)	4,346	383	547	289	218.59

2. 営業外費用（為替差損）の計上

今会計年度を通して円高が急激に進行したことにより、会計年度末(6月30日)において、当社グループの外貨建債権債務に係る為替差損として、連結で 219百万円、個別で 195百万円を計上することとなりました。

3. 通期業績予想修正の理由

売上高につきましては、連結・個別ともに平成28年2月1日に開示しました業績予想値の近傍で推移しました。営業利益は、生産性向上・原価低減施策を推進中であり、若干の改善兆候を示しております。

経常利益及び当期純利益(連結は、「親会社株主に帰属する当期純利益」)につきましては、上記2のとおり、為替差損の計上を主な事由として減益となります。

これらの経緯から、業績予想値を上記1のとおり修正することといたしました。

以 上

(注) 上記業績予想は、現時点での連結決算集約数値に基づくものです。今後の決算処理最終精査過程において、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。